

---

# F D活動報告書

(2017年度)

---

鹿児島女子短期大学



## — 目 次 —

1. 学生による授業評価 … 1
2. 授業公開 … 9
3. F D研修会 … 14

# 1 学生による授業評価

## <授業評価アンケート実施内容>

(単位：名)

年度	学期	専任教員数	実施教員数 (専任)	非常勤 教員数	実施教員数 (非常勤)	授業改善書 提出教員数 (専任)	授業改善書 提出教員数 (非常勤)
平成29年度	前期	46	46 (100%)	40	20 (50.0%)	46 (100%)	9 (45.0%)
	後期	46	46 (100%)	52	19 (36.5%)	42 (91.3%)	11 (57.9%)

(後期4名：2018年3月退職)

## ◆授業評価依頼文書① (例示：平成29年度後期：授業アンケート依頼)

### 「授業についてのアンケート調査」実施要領 (平成29年度後期)

IR委員会

#### 1. アンケート実施期間

下記の期間に「授業についてのアンケート調査」を実施してください。

平成30年1月9日(火)～1月23日(火)

#### 2. アンケート実施予定票の提出

アンケート科目は、1科目(全授業)です。実技・演習科目も対象科目としていただいで結構です。

アンケート実施予定日の前日までに、下欄の予定票に記入し、切り取ってIR委員会のレターケースに提出してください。(アンケート実施予定票はサイボウズからもダウンロードできます。)

#### 3. アンケート実施手順

- ①授業前に、アンケート用紙(「授業についてのアンケート調査」)の入った封筒を事務室で受け取ってください。(封筒に科目コードが書かれています。)
- ②アンケート用紙を学生に配付後、黒板に科目コードと自由設定項目20を書いてください(追加質問がない場合は不要です。)
- ③15分程度の時間を回答に充ててください。
- ④学生の代表に、アンケート用紙の回収にあたらせてください。重ねる順番は自由ですが、用紙の向きが合っていることを確認させてください。
- ⑤学生の代表に、所定の封筒に回収したアンケート用紙を入れさせてください。
- ⑥授業後、その封筒と余りのアンケート用紙を、出勤簿付近の所定のボックスに入れてください。

#### 4. 授業改善報告書

集計結果がまとまり次第、先生方にデータをお渡しします。それに基づいて「授業改善に向けて」(授業改善報告書)を春季FD研修会(予定)受講後、同研修の内容を踏まえてご提出いただきますので、よろしくお願いいたします。

切り取り線

平成29年度後期

#### アンケート実施予定票

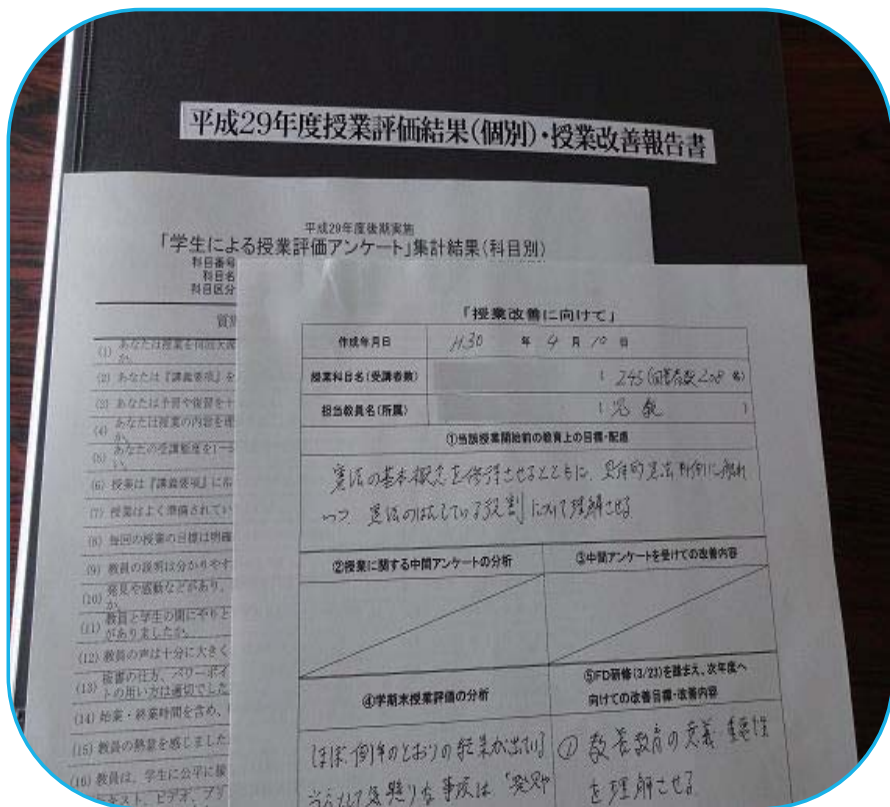
氏名 \_\_\_\_\_

【実施科目】 \_\_\_\_\_

【実施授業時間】(授業が複数回ある場合はそれぞれ書いてください。)

受講者数

J・S・C	年	組	月	日	曜日	・	時限	( )
J・S・C	年	組	月	日	曜日	・	時限	( )
J・S・C	年	組	月	日	曜日	・	時限	( )
J・S・C	年	組	月	日	曜日	・	時限	( )



◆授業評価依頼文書② (例示：平成29年度後期：7シート結果配付・授業改善書提出依頼)

平成30年2月

教員各位

FD委員長 池田

早春の息吹が感じられるようになってまいりました。  
後期試験も終わり、先生方には年度末へ向けてご多忙の毎日が続いていることと拝察します。

さて、1月に実施した授業アンケートの個人別結果の仕分けが終わりましたので返戻いたします。これまでと同様、授業改善に向けた報告書用紙も同封してあります。改善報告書はすぐにご提出いただくのではなく、3月23日(金)15:00より開催される、FD研修会でのワークショップを踏まえご提出いただきますようお願いいたします(研修会にどうしても出席できない先生は、すぐのご提出でも構いません。その場所は、池田ポストでお願いします)。

提出期限は4月10日(厳守)とさせていただきます(提出先：返戻用の提出ボックスを用意(3月23日15時00分以降、出勤簿付近に設置します))。

なお、これからの主なFD活動スケジュールは下記のとおりです。

1. 第2回FD研修会 3月23日(金)15:00～ (南館304教室)

同封資料

- ・「学生による授業評価アンケート」集計結果(実施全科目分)
- ・「学生による授業評価アンケート」集計結果(科目または授業別)
- ・「学生による授業評価アンケート」自由記述欄(切り抜き)
- ・「授業改善に向けて」様式(サイボウズよりダウンロードできます)

以上

※「授業改善に向けて」は資料封入の透明袋へ入れてご提出ください

◆授業評価アンケート用紙

授業についてのアンケート調査

群馬女子大学

このアンケートは、授業をよりよくするためのものです。各授業科目に授業料をいただいている、各科目を担当教員にはお礼を申し上げます。結果の内容が成績に影響することはありません。

(a)実施日と科目名を記入してください

実施日	月	日
科目名		

(b)学年をマークしてください

1	1年生
2	2年生
3	上記以外

(c)科目番号を記入し、マークしてください

科目番号	
0	0
1	1
2	2
3	3
4	4
5	5
6	6
7	7
8	8
9	9

(d)出席番号をマークしてください (1番～9番までの方は、その桁を「0」にマーク)

0	0
1	1
2	2
3	3
4	4
5	5
6	6
7	7
8	8
9	9

(e)組をマークしてください

1	1組
2	2組
3	3組
4	4組
5	5組
6	6組
7	その他

(f)学科をマークしてください

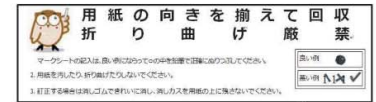
1	児童教育学科
2	生活科学科
3	教養学科
4	上記以外

A 次の質問について①～⑤までの段階で最も近いと思われる数字を選び、マークしてください

(1) あなたは授業を前回より(良/次/悪)しましたか。	0	1	2	3	4
(2) あなたは「講義録」をよく読みましたか。	1	2	3	4	5
(3) あなたは手習や復習を十分にしましたか。	1	2	3	4	5
(4) あなたは授業の内容を理解することができましたか。	1	2	3	4	5
(5) あなたの受講態度を1～5の段階で評価してください。	1	2	3	4	5

B 以下の質問について自由に答えてください

21) この授業でよかったと思う点を書いてください	記入した	22) この授業でよくなかったと思う点、改善すべき点とと思う点を書いてください	記入した	23) この授業について、教室、設備、設備も含め、不足・要望・その他があれば書いてください	記入した
※下記に記入したら、必ず右にマークしてください。正しくマークされていない場合、記入は無効となります	1	※下記に記入したら、必ず右にマークしてください。正しくマークされていない場合、記入は無効となります	1	※下記に記入したら、必ず右にマークしてください。正しくマークされていない場合、記入は無効となります	1



(6) 授業は「講義録」に記入して行われましたか。	1	2	3	4	5
(7) 授業はよく準備できていましたか。	1	2	3	4	5
(8) 毎回の授業の目標は明確になっていましたか。	1	2	3	4	5
(9) 教員の説明はわかりやすかったですか。	1	2	3	4	5
(10) 実例や事例などがあり、興味を持って授業でしたか。	1	2	3	4	5
(11) 質問と学生の間にやりとりがあるなど、授業に活気がありましたか。	1	2	3	4	5
(12) 教員の声は十分に大きくなり、聞き取りやすかったですか。	1	2	3	4	5
(13) 板書の仕方、パワーポイントの表示の仕方、プリントの用い方は適切でしたか。	1	2	3	4	5
(14) 始末、授業準備を良く、時間配分は適切でしたか。	1	2	3	4	5
(15) 教員の熱意を感じましたか。	1	2	3	4	5
(16) 教員は、学生に公平に接していましたか。	1	2	3	4	5
(17) テキスト、ビデオ、プリント資料などの教材は授業の助けになりましたか。	1	2	3	4	5
(18) この授業に比べて、教室の環境、設備などは適切でしたか。	1	2	3	4	5
(19) この授業を総合的に1～5の段階で評価してください。	1	2	3	4	5
(20) (教員が指導する質問に答えてください。出されない場合もあります。)	1	2	3	4	5

◆「授業改善に向けて」用紙（例示：平成29年度後期）

「授業改善に向けて」	
作成年月日	年 月 日
授業科目名(受講者数)	( 名)
担当教員名(所属)	( )
①当該授業開始前の教育上の目標・配慮	
②授業に関する中間アンケートの分析	③中間アンケートを受けての改善内容
④学期末授業評価の分析	⑤FD研修(3/23)を踏まえ、次年度へ向けての改善目標・改善内容

※複数開講科目の場合、受講者数は授業ごとに個別に人数を記してください(例:「95+110名」)。  
 ※②と④の分析は、学生による授業評価を総合的に振り返ってください。学生からの質問の代表的なものに対して、具体的にお答えいただいても結構です。

◆授業評価依頼文書③（例示：平成29年度前期：アンケート結果配付・授業改善書提出依頼：非常勤講師）

平成29年9月

非常勤講師 各位

FD委員長 池田

初秋の風が気持ちよく感じられる季節となつてまいりました。と同時に、後期も開講し、先生方にはご多忙の毎日が始まったことと拝察します。  
 さて、前期内で実施した授業アンケートの個人別結果の仕分けが終わりましたので返戻いたします。これまでと同様、授業改善に向けた報告書用紙も同封してあります。

つきましては、お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、資料結果に基づき、同封いたしました「授業改善に向けて」にご記入のうえ、提出いただきますようお願い申し上げます。

提出期限は10月31日（厳守）とさせていただきます。（提出先：教務課）

同封資料

- ・「学生による授業評価アンケート」集計結果（実施全科目分）
- ・「学生による授業評価アンケート」集計結果（科目または授業別）
- ・「学生による授業評価アンケート」自由記述欄（切り抜き）
- ・「授業改善に向けて」様式

以上

※「授業改善に向けて」は同封の返信用封筒へ入れてご提出ください



◆集計結果（平成29年度前期：全体）

平成29年度 前期実施											
「学生による授業評価アンケート」集計結果(実施全科目分)											
質問項目	各選択肢の回答率 (%)					度数	平均値	標準偏差			
	0	1	2	3	4				5		
(1) あなたは授業を何回欠席（公欠も含む）しましたか。	65.8	19.6	8.4	4.6	1.6	5146	0.6	0.9			
(2) あなたは『講義要項』をよく読みましたか。		6.4	27.5	40.2	17.0	8.8	5140	2.9	1.0		
(3) あなたは予習や復習を十分にしましたか。		5.6	23.0	41.4	21.9	8.1	5138	3.0	1.0		
(4) あなたは授業の内容を理解することができましたか。		1.1	8.5	31.7	38.1	20.6	5138	3.7	0.9		
(5) あなたの受講態度を1～5の5段階で評価してください。		0.2	2.4	29.6	46.4	21.4	5136	3.9	0.8		
(6) 授業は『講義要項』に沿って行なわれましたか。		0.3	2.7	27.4	33.9	35.6	5163	4.0	0.9		
(7) 授業はよく準備されていましたか。		0.4	1.8	14.1	29.8	53.9	5171	4.3	0.8		
(8) 毎回の授業の目標は明確になっていましたか。		0.7	3.0	17.0	32.4	46.9	5169	4.2	0.9		
(9) 教員の説明は分かりやすかったですか。		1.4	5.3	16.3	31.4	45.5	5171	4.1	1.0		
(10) 発見や感動などがあり、興味の持てる授業でしたか。		1.2	5.2	18.3	33.6	41.7	5170	4.1	1.0		
(11) 教員と学生の間にやりとりがあるなど、授業に活気がありましたか。		1.2	5.0	21.1	30.8	41.9	5167	4.1	1.0		
(12) 教員の声は十分に大きく、明瞭な話し方でしたか。		0.5	2.9	12.7	27.0	56.9	5167	4.4	0.8		
(13) 板書の仕方、パワーポイントの表示の仕方、プリントの用の方は適切でしたか。		0.9	3.1	17.6	31.3	47.2	5161	4.2	0.9		
(14) 始業・終業時間を含め、時間配分は適切でしたか。		0.6	2.6	13.4	29.8	53.6	5166	4.3	0.8		
(15) 教員の熱意を感じましたか。		0.4	1.7	12.9	28.9	56.1	5167	4.4	0.8		
(16) 教員は、学生に公平に接していましたか。		0.3	1.1	11.0	27.1	60.5	5166	4.5	0.8		
(17) テキスト、ビデオ、プリント資料などの教材は理解の助けになりましたか。		0.6	2.2	15.6	31.1	50.5	5168	4.3	0.8		
(18) この授業にとって、教室の環境、設備などは適切でしたか。		0.4	1.8	13.4	29.8	54.5	5163	4.4	0.8		
(19) この授業を総合的に1～5の5段階で評価してください。		0.3	2.3	13.6	38.5	45.4	5158	4.3	0.8		

※ 下線は各質問項目において最も回答数が多かった選択肢です。  
 ※ 「度数」とは、各質問項目の有効回答者数です。  
 ※ 「標準偏差」とは、データ群の平均値とそれぞれのデータの乖離具合、ばらつき具合を示したものです。

◆集計結果（平成29年度後期：全体）

平成29年度 後期実施											
「学生による授業評価アンケート」集計結果(実施全科目分)											
質問項目	各選択肢の回答率 (%)					度数	平均値	標準偏差			
	0	1	2	3	4				5		
(1) あなたは授業を何回欠席（公欠も含む）しましたか。	52.6	25.0	13.9	6.6	2.0	4227	0.8	1.0			
(2) あなたは『講義要項』をよく読みましたか。		7.4	30.0	40.2	14.6	7.8	4224	2.9	1.0		
(3) あなたは予習や復習を十分にしましたか。		5.8	23.1	42.4	20.9	7.9	4225	3.0	1.0		
(4) あなたは授業の内容を理解することができましたか。		0.9	7.7	33.1	39.6	18.6	4226	3.7	0.9		
(5) あなたの受講態度を1～5の5段階で評価してください。		0.2	2.8	30.8	47.5	18.7	4223	3.8	0.8		
(6) 授業は『講義要項』に沿って行なわれましたか。		0.7	2.6	26.0	35.9	34.9	4248	4.0	0.9		
(7) 授業はよく準備されていましたか。		0.1	1.2	14.5	30.3	53.9	4251	4.4	0.8		
(8) 毎回の授業の目標は明確になっていましたか。		0.4	2.5	15.8	31.9	49.4	4249	4.3	0.8		
(9) 教員の説明は分かりやすかったですか。		1.0	4.4	16.8	32.3	45.5	4250	4.2	0.9		
(10) 発見や感動などがあり、興味の持てる授業でしたか。		1.0	3.6	19.5	34.6	41.3	4250	4.1	0.9		
(11) 教員と学生の間にやりとりがあるなど、授業に活気がありましたか。		1.3	4.2	21.7	31.0	41.7	4251	4.1	1.0		
(12) 教員の声は十分に大きく、明瞭な話し方でしたか。		0.6	2.5	13.1	27.9	55.8	4250	4.4	0.8		
(13) 板書の仕方、パワーポイントの表示の仕方、プリントの用の方は適切でしたか。		0.6	2.7	18.5	32.2	45.9	4208	4.2	0.9		
(14) 始業・終業時間を含め、時間配分は適切でしたか。		0.5	1.5	13.6	31.3	53.1	4250	4.4	0.8		
(15) 教員の熱意を感じましたか。		0.3	1.6	13.3	30.7	54.1	4250	4.4	0.8		
(16) 教員は、学生に公平に接していましたか。		0.6	1.3	11.8	28.2	58.1	4251	4.4	0.8		
(17) テキスト、ビデオ、プリント資料などの教材は理解の助けになりましたか。		0.5	1.8	16.1	32.2	49.4	4244	4.3	0.8		
(18) この授業にとって、教室の環境、設備などは適切でしたか。		0.1	1.0	12.3	31.5	55.0	4245	4.4	0.8		
(19) この授業を総合的に1～5の5段階で評価してください。		0.2	1.5	13.9	38.1	46.3	4239	4.3	0.8		

※ 下線は各質問項目において最も回答数が多かった選択肢です。  
 ※ 「度数」とは、各質問項目の有効回答者数です。  
 ※ 「標準偏差」とは、データ群の平均値とそれぞれのデータの乖離具合、ばらつき具合を示したものです。

## 2 授業公開

### < 授業公開週間実施内容 >

(単位：名)

年度	実施期間	参 観 科目数	専 任 教員数	授業参観記録 提出教員数	備考 (教員内訳)
平成 29 年度	平成 29 年 11 月 6 日 (月) ~ 30 日 (木)	17	46	17	児童教育：4/21 名 生活：10/16 名 教養：3/9 名

### ◆授業公開週間について① (平成 29 年度)

平成 29 年 11 月 2 日

教員各位

FD 委員長 池 田

お知らせとお願い

歳末というにはまだ早いものの、何かと気忙しい時節となってまいりました。  
さて、下記の予定で授業公開週間が始まります。授業力向上のため、自らの授業にたいする他者評価は重要な資料ともなりますので、公開へのご理解、ご協力のほどをよろしく  
お願い申し上げます。つきましては、教員メールボックス脇に用意した「後期時間割」に、  
実施予定の授業で公開を不可とする授業の部分のみバツ (×) 印をつけていただきますよ  
うお願いします (一般教養科目等の同時開講科目は、お名前部分に印をお願いします)。  
なお授業参観の際は、原則として、事前に授業担当者へ参観希望である旨をお伝えくだ  
さい (実習その他による休講等があるため)。また参観は、授業開始時から終了時まで  
としますが、場合によっては中途参観・退出でも構いません。  
参観後は、添付の参観感想用紙を 12 月 8 日までに指定の提出ボックス (メールボックス  
上に 11 月 6 日より設置) へお入れください。

記

平成 29 年度後期授業公開週間 11 月 6 日 (月) ~ 11 月 30 日 (木)

以上

### ◆授業公開週間について② (平成 29 年度：非常勤講師)

平成 29 年 11 月 2 日

非常勤講師 各位

FD 委員長 池 田

お知らせとお願い

歳末というにはまだ早いものの、何かと気忙しい時節となってまいりました。  
さて、下記の予定で授業公開週間が始まります。授業力向上のため、自らの授業にたいする他者評価は重要な資料ともなりますので、公開へのご理解、ご協力のほどをよろしく  
お願い申し上げます。つきましては、教務課窓口「後期時間割」を用意いたしました。  
出勤簿押印時に確認し、実施予定の授業で公開を不可とする授業の部分のみバツ (×) 印  
をつけていただきますようお願いいたします (一般教養科目等の同時開講科目は、お名前部分  
に印をお願いします)。  
なお授業参観の際は、事前の講義実施予定の確認をお勧めします。(実習その他による  
休講等があるため)。また参観は、授業開始時から終了時までとしますが、場合によって  
は中途参観・退出でも構いません。  
参観後は、添付の参観感想用紙を 12 月 8 日までに教務課へお渡しください。

記

平成 29 年度後期授業公開週間 11 月 6 日 (月) ~ 11 月 30 日 (木)

- 概 要：①上記の期間中に授業の参観ができます。90分間に複数の授業を参観して  
いただいても構いません。  
②期間中は、「授業公開週間時間割」(時間割は教務課でご確認下さい。)に  
条件が明示されていない限り、授業担当者の許可なく入室できます。  
参 観 後：①参観者は、「授業参観記録」に感想等を記入し、教務課へ提出して下さい。  
②記録用紙は1授業につき1枚の記入となります。  
③教務課で記録用紙を回収した後、科目毎にまとめ、授業担当者へお渡します。  
(ただし、コピーを1部、FD委員会で保管します。)

以上

◆授業公開について（時間割確認のお知らせ）（平成 29 年度）

**授業公開週間時間割**

授業公開週間(11/6～11/30)の時間割を準備いたしました。

※ 11/1 までに、わかっている休講・教室変更については記載しています。

各学科の時間割について、実施予定の授業で公開を不可とする授業の部分のみバツ(X)印をつけていただきますようお願いいたします(一般教養科目等の同時開講科目は、お名前の部分に印をお願いします。)

\*\*\* 非常勤講師の皆様も、授業公開にご協力いただいております。  
できるだけ、参観にもご協力いただきますようお願いいたします。\*\*\*

11月2日 FD委員会

◆授業公開について（公開週間お知らせ：学生用）（平成 29 年度）

2017.11.2

**授業公開週間のお知らせ**

FD委員会

本学における授業改善の一環として、「授業公開週間」を実施します。これは、教員間で授業を参観し合うことにより、各教員が自分の授業を見直して質の向上を図ることを目的としています。期間中は、学生の皆さんが受けている授業を、本学教職員または非常勤講師の先生方が参観されることがありますので、その際は理解と協力をお願いします。

**実施期間：11月6日(月)～11月30日(木)**

以上

◆授業公開時間割例示（平成 29 年度）

鹿児島女子短期大学  
平成29年9月19日現在

		平成29年度【後期】時間割 [児童教育学科]											
		1 年						2 年					
年	組	1組	2組	3組	4組	5組	6組	1組	2組	3組	4組	5組	6組
11月27日	コース	小・幼・保						小・幼・保					
	チーム	コース						コース					
		21名	22名	50名	49名	50名	49名	32名	29名	42名	40名	41名	42名
	1	体育Ⅱ	音楽Ⅱ	英語演習Ⅱ		子どもの成長Ⅱ	前半年の振り返り	松元 東201					
	2	小松(黒原)	新村 高島			宇都(今村)							
	3	体育館	605	309									
	4	生徒指導・進路指導	保育内容(環 境)	図画工作	511	家族支援論							
	5	松元 東201	橋本 401	井上 610		平嶋 407							
	6	(保)表現Ⅰ	障害児の教育・保育	発達心理学Ⅱ		生涯学習論 山元 403	(保)人間関係						
	7	松下 610	丸田 401	平嶋 402		社会 松崎 407	坪井※合同組 東201						
8	英語演習Ⅱ (A:生田 南304) (B:吉村 404)	日本語演習Ⅱ 藤川	(C:高島 309)		大村	保育・教職 実習演習406							
9	中国語演習Ⅱ (谷口 西204)	韓国語演習Ⅱ (全 405)			体育館	内田 406							
10	保育所実習Ⅰ指導 宇都・丸田 701	幼稚園教育実習Ⅰ後期 (~12/11)			保育実技	内田 406							
11月28日	1	教育原理	体育Ⅱ	保育者論		保育 齋 床							
	2	山元 405	小松 黒原 402	丸田 401		宮里							
	3	保育者論	発達心理学Ⅱ	保育内容(環 境)		(保)表現Ⅲ							
	4	丸田 407	平嶋 401	橋本 402		中村 605							
	5	障害児の教育・保育	保育者論			情報メディアの活用 瀬戸 南501							
	6	宮里 405	丸田 401			相談援助 赤瀬川 東201							
	7	倫理学 村善 405	数学基礎 内田 401			保・教実習 演習 406							
	8	心理学 園田 608	国際化と経済 大重 407			山元/橋本/池田							
	9	文学 生田 南304				学習指導と学校図書館 山下 309							
	10	日本国憲法 池田 401											

◆授業公開参観記録様式（平成 29 年度）

平成29年度 授業参観記録

科目名	担当者	先生
参観日時	月 日 ( )	1・2 3・4 5・6 7・8 9・10 限目
記入者	児童教育学科 非常勤講師	生活科学学科 事務職員 教養学科 その他 ( )
氏名		
授業についての感想		
※12月8日(金)までに提出ボックスにご提出ください。		



◆授業公開実施報告（平成 29 年度）

平成 29 年度 授業公開週間について（報告）

FD 委員会

○実施期間：平成 29 年 11 月 6 日（月）～ 11 月 30 日（木）

○報告書提出者数

学 科	人 数 (昨年度数)
児童教育学科	4 (5)
生活科学科	10 (12)
教養学科	3 (8)
非常勤	0 (2)
合 計	17 (27)

○参加科目一覧

保育内容（表現Ⅲ）	看護実習	情報メディアの活用
We Love 鹿児島！	経管栄養	栄養生化学Ⅱ(2名)
カウンセリング入門	造形表現Ⅱ	保育・教職実践演習
臨床栄養学総論	現代社会学	観光フィールドワーク
解剖生理学実験	教育心理学	教育方法の研究
キャリアガイダンス		

- ・現場で楽しく取り入れられそうな実践的な授業であった。
- ・アクティブラーニングの実践がなされていて、大変参考になった。
- ・いかに実習室を効果的に使うかが、とても参考になった。
- ・レジュメとプロジェクターをうまく組み合わせて用いており、説明もとてもわかりやすいものになっていた。
- ・ロールプレイでは、楽しみながら参加でき、気持ちを伝えることの難しさもしっかりと伝わるものになっていた。
- ・毎回、授業後にプリントを回収・確認し、次回の授業で返却をしており、学生の理解を知る上で大変有効だと感じた。
- ・学生に発言を求める機会も多く、学生の返答も個性的で面白く、間違えてもヒントを与えながら修正させ、自信を失うことがないような工夫が見られた。
- ・学生が発表し、その後お互いに改善点を話し合うことで、より良いものへ仕上げようという姿が見られた。
- ・自分の情報から基礎代謝を求めるという授業で、自分ごととして捉えられよかった。
- ・学生の様子を見てショートブレイクを挟んだり、授業を上手にコントロールしており参考になった。
- ・自身の授業とも関連のある内容で、上手に結びつけることで、学生の理解にも関連性を持たせられたらいいなと思った。
- ・講義を進めていく中で、復習を含めた質問や、学生自身に考えさせるアクティブラーニングの要素もあり、最後まで飽きのこない授業であった。
- ・思考、判断はもちろん、観察を通して表現することにまで繋がっていく授業であった。
- ・学生のペースに合わせた丁寧な説明と興味を引き出す課題提起で、理解が難しくなりがちな内容もすんなりと頭に入ってきた。
- ・最後に行う小テストで、学生が今日の学びを実感できるようになっており、今後取り入れていきたいと思った。

3 FD研修会

<FD研修会内容>

平成 29 年度	<p>・平成 29 年度第 1 回 FD 研修会                      テーマ：「大学コンソーシアム八王子 FD・SD フォーラム参加報告                      －大学生生き残り策としての DP・GP 実質化－                      平成 29 年 10 月 5 日（木） 17：10～18：00 （大会議室）                      （講師：児童教育学科 教授 池田 哲之） 参加者：57 名</p>
	<p>・平成 29 年度第 2 回 FD 研修会                      テーマ：「育成と養成 ～育成機関としての短大～                      平成 30 年 3 月 23 日（金） 15：00～16：00 （南館 304 号室）                      （講師：児童教育学科 准教授 内田 豊海） 参加者：51 名</p>
	<p>・2017 年度第 1 回「教職協働研修会」                      テーマ：「求められる教職協働のあり方 －戦後大学史を踏まえ－                      平成 30 年 2 月 1 日（木） 16：20～17：10 （本館 402 号室）                      （講師：児童教育学科 教授 池田 哲之） 参加者：73 名</p>

◆平成 29 年 10 月 5 日（木）「2017 年度第 1 回 FD 研修会」



2017 年度第 1 回 FD 研修会

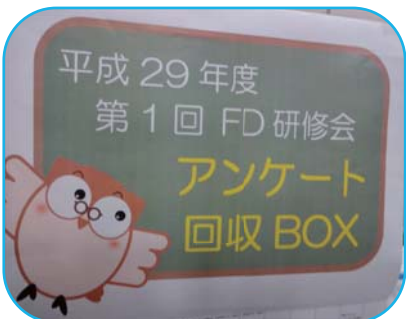
2017 年 10 月 5 日 本館大会議室

大学コンソーシアム  
八王子 FD・SD フォーラム参加報告  
－大学生生き残り策としての DP・GP 実質化－

担 当 池田 哲之







◆2017年度第1回FD研修会揭示（内容）

平成29年9月25日  
 教員各位  
 FD委員長 池田

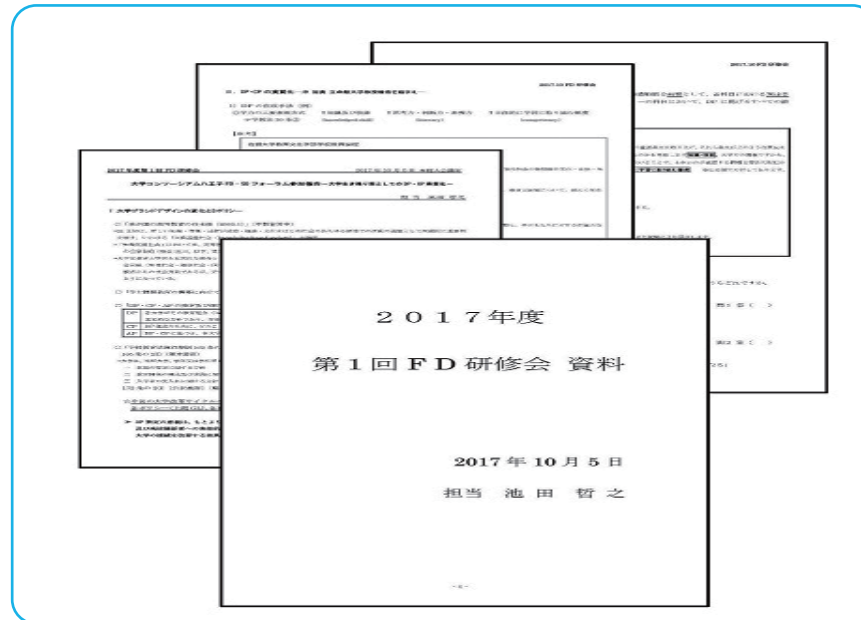
お 知 ら せ

下記の要領で、平成29年度第1回FD研修会を開催します。先生方のご参加をお願いします。

記

- |        |   |
|--------|---|
| 1. 日 時 | 10月5日（木）教授会終了後～ ※ 30分程度   |
| 2. 場 所 | 大会議室  |
| 3. 内 容 | 1) 開会の辞（FD委員長）<br>2) 学長挨拶<br>3) FD研修会報告 ※ 担当 池田教授<br>4) 閉会の辞（事務局次長兼総務課長）<br>5) 事務連絡 |

◆2017年度第1回FD研修会（資料）



◆2017年度第1回FD研修会アンケート用紙

2017/10/5  
 平成29年度第1回FD研修会アンケート

①本日の研修会について、ご感想・ご意見等ありましたらお書きください。

## 平成29年度第1回FD研修会

### 【アンケート結果】(提出者:14名)

- ・3Pの具体化についてのわかりやすい説明であり、認識の共有に大変役立った。
- ・再課程認定へ向けて、DP・CP・APの考え方などの再確認ができた。各学科のコアカリキュラムの内容確認の必要性を感じた。
- ・興味深く受講させていただきました。
- ・大学に期待されている役割も日々変化しつつあることが改めて理解できた。
- ・高等教育の今後の在り方や、国際社会における大学の必要性などから、日本の教育課程が大変重要な時期にあることを認識できた。
- ・シラバスの記載例等、今後の参考にしたい。
- ・CP, DPの求められる関係とシラバスの書き方について理解を深めることができた。
- ・お話いただいた内容は、本学としてすでに取り組んでいることもあり、負担のないように取り組んでいければ、あまり恐れずにいけると思う。
- ・これまで抽象的な議論だったDP, CP, APの位置付けだったが、骨格が明確化された。
- ・シラバス作成時には、毎回時代の流れとともに、ニーズに応えられるような内容を踏まえ、他校にない独自性を取り入れた教育内容が必要であると感じた。これまで教育論文を執筆する際に、足りないものがどこにあったのか気づくことができ、今後の参考になった。
- ・短大の中においてグループ分けされる学生の背景にも様々な家庭的事情や価値観があることがわかり、今後の学生指導の参考となった。
- ・教育学が、大学教育においても実践できる知であることを知った。より深く学びたいと思う。





#### ◆2017年度第2回FD研修会揭示(内容)

教員各位

平成30年3月14日

FD委員長 池田

#### 平成29年度第2回FD研修会開催要領(お知らせ)

記

- |        |   |        |
|--------|---|--------|
| 1. 日時  | 3月23日(金) 15:00～   | ※1時間ほど |
| 2. 場所  | 南館304   |        |
| 3. 内容  | 「人材育成の観点から」(仮題)   |        |
| 4. 講師  | 内田先生  |        |
| 5. 会次第 | 1) 開会の辞 (FD委員長)<br>2) 学長挨拶<br>3) 標記講話・質疑応答等<br>4) 閉会の辞 (事務局次長)<br>5) 事務連絡 |        |

以上

\*やむをえず欠会される方は、事前に総務課までご連絡願います。

#### ◆2017年度第2回FD研修会次第

平成30年3月23日

教員各位

FD委員長 池田

#### 平成29年度第2回FD研修会開催要領

記

- |       |   |        |
|-------|---|--------|
| 1. 日時 | 3月23日(金) 15:00～   | ※1時間程度 |
| 2. 場所 | 南館304   |        |
| 3. 内容 | 1) 開会の辞 (FD委員長)<br>2) 学長挨拶<br>3) 「人材育成の観点から」(仮題)<br>講師 内田准教授<br>質疑応答<br>4) 閉会の辞 (事務局次長兼総務課長)<br>5) 事務連絡 |        |

#### ◆2017年度第2回FD研修会アンケート用紙

2017/3/23

#### 平成29年度第2回FD研修会アンケート

- ① 本日の研修会について、ご感想・ご意見等ありましたらお書きください。



## 平成29年度 第2回 FD研修会

### 【アンケート結果】(提出者:29名)

- ・すぐに授業に取り入れる投げかけがあり、次年度から取り入れたい。
- ・「教えすぎの教員が多い」という表現が面白い。
- ・自身の授業について改めて考える機会になった。さらに授業の質を高める努力をしたい。
- ・自分の教育する価値観を改めて考える機会となった。それを授業にどう生かすのかについて次年度努力したい。
- ・養成と育成の違いを考えさせられる良い機会となった。
- ・遺伝の話は面白かった。性差に関しては、慎重な議論が必要。
- ・学生の発達を考えないで、子供の発達を教えているということにぐさつときた。
- ・育成的観点から話し合うことができたので、先生方の考え方や想いを感じることができて楽しかった。
- ・学生の個性を理解し、養成・育成、していく重要性について勉強できた。
- ・自発的に考え、発言する学生を抑えつける教育にならないような授業を心がけたい。
- ・「何を伝えたいのか」というのを改めて言語化する機会はありませんので、自分の授業の軸が何なのかを考える良い機会となった。
- ・育成に関し、どのような人間を育てたいか、短大の理念をどう捉えていくのが大切か、難しい。
- ・固定化してしまっている価値観を覆すのにはどうしたら良いのか。
- ・大学生の発達のことを知らないのに、学生に子供の発達のことを教えている矛盾、ずっと怖いと思いつけてきたことを再確認した。
- ・一人の人間としてどのように生きて行けばよいのかを、学生が卒業後も自分で考えることができるような力を身につけられたらいいなあと改めて思った。
- ・暗示的価値観および「よくある失敗」の話から、特に自分自身を振り返る教材を得た気がする。教養教育のあり方について見直しが進んでいる様子を知ることができてよかった。

平成30年2月1日(木) 16:20 ~ 17:10 本館402号室



### 教職協働研修会

下記のとおり、教職協働研修会を行いますので、全教職員の  
ご出席方よろしくお願いたします。

日時 平成30年2月1日(木)

教授会終了後 ※30~60分程度

場所 本館402

1月26日

### 2017年度 教職協働研修会 資料

本研修の目標

1. 今後の社会環境を踏まえ、今日の大学が置かれた状況を的確に把握している。
2. 大学改革をめぐる諸施策を、日々の業務との関連において展開することができる。
3. 教員・職員間の相互連携を促し、大学改革に主体的に取り組むことができる。

2018年2月1日

教職協働委員会委員長

池田 哲之



## ＊ あとがき ＊

F D活動の義務化から10年が経過した。この間、本学でも順次、F D活動の推進・定着にあたってきた。具体的には、定番の授業評価アンケートをはじめ、授業公開週間の設定あるいは学内外の講師の協力をえてのワークショップの開催、などである。年度によっては、F D活動の全国的な趨勢を知るため、各地で執り行われるF Dフォーラムに教員が出向き、その果実を学内に還元するといった取組も実施してきた。

一方、F D活動を重ねてゆくなかで、いくつかの課題もみえてきた。たとえば、ワークショップ担当教員の固定化、他者授業参観教員数の少なさ、である。全教員が、各F D活動へ主体的に臨むにはどのような方策が必要なのか、を掘り下げて検討すべき時期にこれはさし掛かっているということでもある。

こうした課題をばらみつつ、本年度も、授業評価アンケートの実施そのほかの定型的F D活動および計2回の研修（ワークショップ1回を含む）を開催した。10月に開催された第1回目の研修は、「大学コンソーシアム八王子F D・S Dフォーラム」への参加教員による報告研修で、D P・C Pの実質化に資するシラバス作成上の留意点や授業のあり方についての事例報告がなされた。「育成と養成－育成機関としての短大－」と題した第2回目の研修では、学生間の能力的な個人差をも顧慮した教育の重要性、教育目標の意識化につき、担当講師の講話を手掛かりに、グループ別の討議・発表が行われた。これら研修の受け止め方は、各教員必ずしも同一ではないと推察されるが、大学教育にたいする時代・社会の要請を的確に把握する一助になったことだけはたしかであろう。

なお、本報告書では、本年度はじめて開催の運びとなった、F D活動の一端をなす教員・職員合同の研修（教職協働研修）の記録も収載した。

本学の特性を踏まえたF D活動の継続と深化により、本学が、学生にとって知のあらたな発見と創造の場になることを念じ、筆を擱く。

FD委員長 池田 哲之

「鹿児島女子短期大学F D活動報告書」  
(2017年度版)

鹿児島女子短期大学F D委員会  
(2018年7月発行)